

とちぎの高校生「じぶん未来学」を紹介！

高校生の保護者の皆様、「じぶん未来学」は御存じでしょうか。今回は、栃木県で高校生対象に行っている家庭教育支援事業『とちぎの高校生「じぶん未来学」』を紹介します。

とちぎの高校生「じぶん未来学」とは・・・

とちぎの高校生「じぶん未来学」は、やがて親となる世代である高校生が、親・家族・家庭などの意義や役割、地域の人間関係など地域社会について主体的に学ぶことにより、次世代を育成し、地域への愛着や定住意識の醸成を図るとともに、地域を支え守る気持ちを育むために開発されたプログラムです。参加体験型で学習が進められるようになっていて、関連する教科や総合的な学習の時間、特別活動等で実施しています。



「じぶん未来学」冊子

6つの視点・12プログラムで構成

| 区分 | 視点 | 学習テーマ |
|----------|--------------------|------------------------|
| 自分 | 1 自分を考える | 自分を見つめる |
| | | ライフプランを考える—豊かに生きるためには— |
| 家族・家庭 | 2 親を考える | 親としての役割・責任 |
| | | 親となる意義 |
| | 3 子どもを考える | 子どもの誕生 |
| | | 子どもの成長と発達 |
| 4 家族を考える | 家族のあり方を考える | |
| | ライフスタイルと家族 | |
| 地域・社会 | 5 地域を考える | 地域で子育てを支える |
| | | 地域社会の人間関係と地域力 |
| 6 社会を考える | 社会参加・社会貢献を考える | |
| | 社会生活・家庭生活、生きがいを考える | |

県内全ての高校生が学ぶことになりました。

平成28年度に全県立学校1年生から実施しています。

(冊子は在校生全てに配付)

平成29年度からは、全私立学校等にも配付しています。

《親子でコミュニケーションのきっかけに！》

「親となる意義」や「子どもの誕生」などの学習テーマがあるので、お子さんが生まれたときのことを思い出しながら話をしたり、「家族」のつながりを改めて確認してみたりするのもいいですね。

ぜひ、お子さんと「じぶん未来学」の冊子をめくりながら、お子さんの進路や将来について親子で話し合い、親子のコミュニケーションを深めていっていただきたいと思います。

